



心
沸
き
立
つ
も
の
づ
く
り

Photograph by Shiraishi Kazuhiro

篠原紙工ボール紙見本帳

製本に使われる芯材である、地券紙・チップボール・黄ボール。

その代表銘柄の全斤量を1つの見本帳にまとめました。

素材選びは本の仕上がりを決めるとても重要で楽しい時間です。

その紙選びをより自由に楽しめるよう、そして大切な選択の緊張と高揚感を引き立たせるように、篠原紙工の創意を凝らした加工を随所に施したボール紙の見本帳を作りました。

ひとり静かにアイデアを練る時、心沸き立つようなものづくりや打ち合わせのために、この見本帳が力となってくれることを祈っております。

仕様：本文3冊組み特製カバー入り

サイズ：W146 × D135 × H92 mm

価格：20,000円（税別）

制作：篠原紙工

編集：T&M Projects

デザイン：YUTA Design Studio

販売：篠原紙工 STORES サイトより

※特装梱包ケースにてお届け

収録紙：各種全斤量

- ・N地券紙
- ・NSボール
- ・NPCC
- ・更黄板
- ・特光黄板



2023年4月下旬
販売開始予定



篠原紙工

篠原紙工ボール紙見本帳

見本帳に施した製本・加工について

スケルトン製本

本の背を固めるために使われるPURという接着剤をそのまま露出させた製本方法。紙の表紙にはない樹脂のツルツとした手触りと透明感が特徴。背が柔らかいため、ページを180度開くことができます。



見本帳での使用箇所：**本文背**
樹脂の表面を平滑にしたり、気泡を入れてランダムな凹凸のある表面に仕上げることができます。

ミーリング加工

ファイバースラッファーとも呼ばれる、回転するノコギリで紙の側面を削る加工。紙の厚さや質感によって、断面がバサバサになったりふわふわになったり、見た目や触った時の印象が異なります。



見本帳での使用箇所：**本文小口**
削りの強さを粗・細・なし(断裁仕上げ)の3段階に分けています。

天金加工

本の側面(小口)に箔のフィルムを転写する、古くは聖書などにも施されていた加工。金・銀・顔料箔などで本を彩る装飾性に加えて、日焼けやホコリから本文の劣化を防ぐという機能性を持ち合わせた加工です。



見本帳での使用箇所：**本文天側面**
使用箔は村田37号金

レーザーカット加工

レーザー光で様々な素材を繊細な形状に焼き切る抜き加工。レーザー光の強さを調整することで、焼き印の様な彫刻加工や、ハーフカット加工も可能。素材を焼いてカットするため、断面が茶色くなり、表面にヤニが出るのが特徴です。



見本帳での使用箇所：**カバー**
パズル部分をレーザーカットで抜き加工しています。

ペーパーヒンジ加工

ハーフカットと呼ばれる紙に切れ目を入れて折りやすくする加工に、強度と装飾性を付加した篠原施工オリジナルの加工。切れ目を入れた紙の断面に紙を貼り付けることで、薄皮一枚で繋がっている折り目の部分にかかる負荷を軽減しています。



見本帳での使用箇所：**カバー**
本の補強材としても使われる寒冷紗を使用。レーザーカット加工で生じた断面の焦げを隠す役割も担っています。

グルーステンシル

文字や絵柄がくり抜かれたシート(ステンシル版)を使い、任意の形状にボンドを塗布する篠原紙工オリジナルの加工。重ねた紙の側面に塗布すればメモブロックになり、ボンドの種類を変えることで様々な色・質感のバリエーションを生み出せます。



見本帳での使用箇所：**カバー**
本体がカバーから抜け落ちないように、内面に加工することで滑り止めの機能をもたせています。